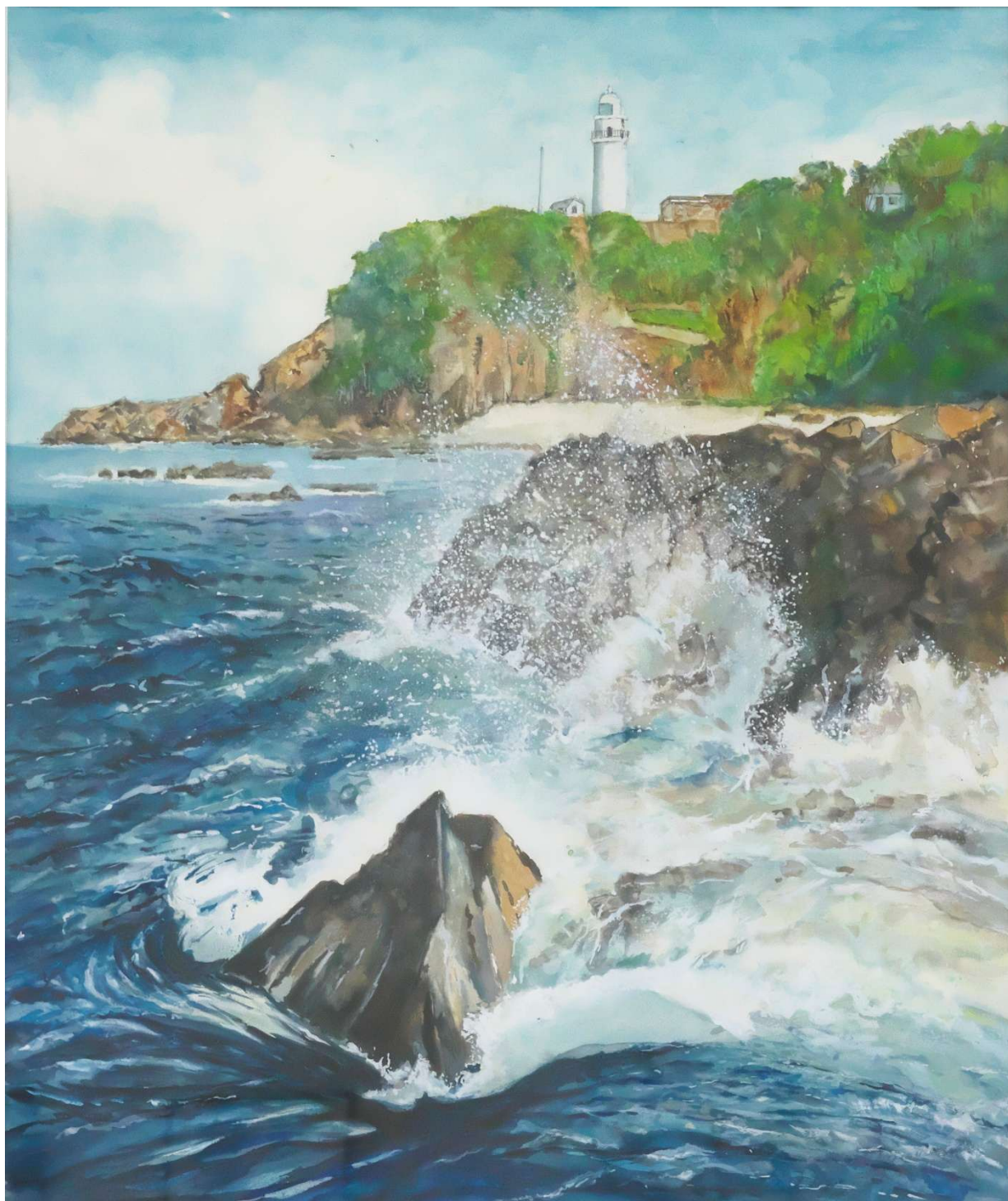


2026年6月 昭和鯨城会会報 122号

昭和の会便り



令和8年度昭和鯉城会総会開催さる

令和8年4月10日（金）午前10時から、昭和区役所講堂において、会員40名が出席して、令和8年度昭和鯉城会総会を開催しました。

高島善行会長のあいさつの後、ご来賓の昭和区長 加藤秀一様、昭和社会福祉協議会事務局長 大原英孝様よりご挨拶をいただきました。

議長は会則に従って高島会長が務め、令和7年度事業報告、会計報告、監査報告の後、（令和7年度の役員ほとんどが留任の）新役員メンバー提案があり、満場一致で承認されました。

高島会長のあいさつの後、令和8年度事業計画（案）、予算（案）も、満場一致で承認されました。

その後、新役員と新入会員（いずれも男性）の紹介がありました。



高島善行会長挨拶



役員と新加入メンバーの紹介



各学区会ミーティング

閉会後は、学区ごとに集まって学区幹事を選出したり、学区会について話し合ったりしました。

最後に、アトラクションとして、民謡同好会の女性会員6名による踊り「新伊予節」と衣装を替えて「帆柱起こし音頭」の2曲、片岡ボランティア委員長によるマジックショー（コイン、リング、ESPカード）が披露され、つつがなくすべての行事を終了しました。



来賓挨拶

加藤昭和区長(左)、大原昭和社会福祉協議会事務局長(右)

[アトラクション]



新伊予節



帆柱起こし音頭



コイン



リング



ESPカード
マジックショー

昭和鯨城会会長挨拶

32期(生活B) 広路 高島 善行

平成4年の初代会長から始まって29人目、第35代(令和8年度)昭和鯨城会会長に就任しました。今年度も引き続き会長を務めることになり4期目となります。令和5年度に会長に就任しましたが、その時はまさか会長で4年目を迎えるとは思っていませんでした。今までの3年間至らないところもあったかもしれませんが、私としては精いっぱい頑張ってきたつもりです。

4月11日(金)に総会が無事に終了し、新たな気持ちで新年度のスタートを切りました。

私を含め、総務・行事・ボラ・広報の各委員長も昨年度からの留任ですので、気心も知れ、人間関係はとても取組みやすい環境にあります。さらに定例会メンバーには、私と6～7年もずっーと一緒に役員・委員として共に活動してきた方が何名もいます。今年度もこうした心強い仲間と活動できることを嬉しく思います。

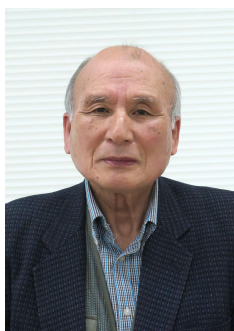
会員の皆さまが自分らしくいきいきと生きる“幸齢者”になれるよう、健康第一に、楽しく、明るく、元気が出る会にしたいと思っています。皆様のご協力、ご理解のほどをよろしくお願いいたします。



総務委員長

33期(生活A) 川原 山田 浩

総務委員長も4年目。他の区鯨城会の方から「総会の出席者が少ないので困っている。総会後のアトラクションはやっているのか?」とか、会費については「入会金は集めなければいけないのか、会費は余っているのに集めなければいけないのか」といった羨ましい相談も受けています。



山田総務委員長

昭和鯨城会では活動用の朱色のベストも一着3,000円以上かかるので、2,000円の入会金では足りないのが現状です。値上げの気持ちはさらさらありませんが、新入会の皆様にはもちろん、会員の方々にもそんな内情をご理解いただきながら、本年度も活動を進めたいと思っています。



山崎総務副委員長



定例会風景

行事委員長

34期(美術B) 滝川 中山 秀治



中山行事委員長

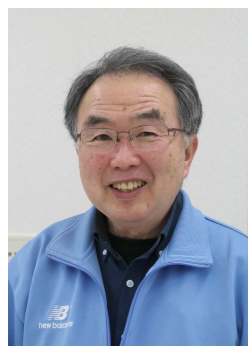
行事委員長として2年目も務めさせていただくこととなりました。日頃より会員の皆様のご支援に深く感謝申し上げます。今年度もバス旅行をはじめとする行事を通じ、会員相互の親睦をより一層深めてまいりたいと考えております。皆様に「参加してよかった」と感じていただけるよう、内容や運営に工夫を凝らしてまいります。微力ではございますが、会の発展のため尽力いたしますので、今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



後藤行事副委員長

ボランティア委員長

33期(生活A) 御器所 片岡 晴彦



片岡ボランティア
委員長

ボランティア委員長の片岡です。
私は鯨城学園入学以前はボランティアに関心がありませんでしたが、鯨城学園の設立趣旨に触れ、出来る範囲で参加するようになりました。
昭和鯨城会ではウィメンズマラソンのコース整理、土鈴の絵付け体験の提供、各種清掃などを行っています。
私たちはこれらの活動を義務としてではなく、それぞれの都合に合わせて無理のない範囲で参加しています。仲間との連帯を感じながら、健康維持と地域貢献を目指して今後も続けていきます。



秋山ボランティア
副委員長

広報委員長

32期(健康B) 吹上 伏屋 満

最近、昭和鯨城会ホームページの区会誌コーナーにてこの冊子の創刊号から見る事が出来るようになりましたので、会員の皆様も暇なときには是非ご覧ください。誌面の内容は会の活動を反映して多岐にわたり、ボリュームもあって驚かされます。



伏屋広報委員長

一方、私の広報担当は7年目に入り、誌面がマンネリ化してつまらないのではないかと心配しています。今年度は会員皆様の協力を得て、魅力ある冊子に変身したいところです。

私的には、これまで、誌面作りのため、可能な限り行事やボランティア活動等にも参加してきましたが、おかげさまで仲間や、知見・経験を得ることができました。お役御免の時が来るまで、もうしばらく楽しみたいと思っています。



中村広報副委員長

新入会員あいさつ

39期(音楽A) 村雲 坂野 吉隆

こんにちは。今年入会しました坂野吉隆です。鯨城学園では、フォークソングクラブに在籍し、楽しい学園生活でした。

学区は村雲、趣味はテニス、麻雀、低山ハイキング、音楽鑑賞(宗次ホールに出かけています)です。

先日、散歩中にお寺の掲示板で[死とはいつか来るものではなく、いつでも来るものなの]を見て、ドキッとしました。早速、やりたい事リストを作って夢の実現に一步踏み出したいと思っていますので、皆様宜しく願いいたします。



39期(歴文A) 鶴舞 中島 永三



この度、昭和鯨城会に入会しました中島永三です。

趣味はゴルフと水彩画です。どちらも下手ですが、頑張っ楽しんでます

ボランティアの経験は、一度もありませんが、昭和鯨城会の皆様の御指導をうけながら、努力してまいります。

元気なかぎり活動したいと思えます。どうぞよろしく願いします。

39期(国際A) 松栄 白井 富男

この度昭和鯨城会に入会させて頂きました。どうぞよろしくお願いいたします。鯨城学園ではコーラスクラブに所属して2年間楽しんで参りましたので引き続き鯨城学園 OBOG の合唱団「白川ハーモニク・クラブ」にも入会させて頂きました。この合唱団には昭和鯨城会のメンバーが私を含めて5名ほどいらっしゃるということで心強い限りです。後期高齢者の仲間入りをしたところですが「今日行く・・・」と「今日用・・・」を心がけてできる範囲でみなさまと一緒に活動を続けていければ幸いです。



毎月の定例会で披露される、片岡ボランティア委員長の玄人はだしマジック

行事レポート

イチゴ狩り

37期 (園芸) 吹上 桐山 宏之

2026年2月20日(金)に昭和鯨城会でイチゴ狩りが開催された。当日は晴れたものの若干寒かった。

参加者10名は9時15分の時間通りに集合した。

このグループは老人が皆15分程度早く集まる。

JR関西線 9:37 発鳥羽行の快速に乗り約20分で桑名に着いた。車内ではケイタイの話題に花が咲き、「最近のソフトウェアの進歩が速くてついていけない」類の話に盛り上がっていた。1月に80歳になった「マダラボケ」の私も大いに共感。

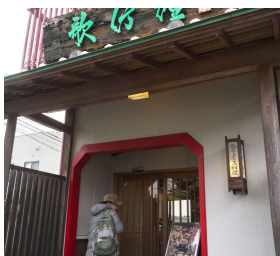


ビニールハウス



いちご狩り風景

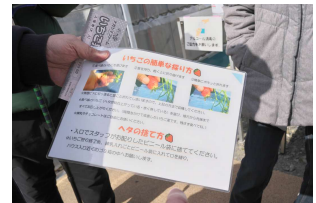
バスで桑名市博物館に向かい展示物を見学した。刀剣類や連鶴などが多く展示してあった気がする。桑名駅への途中にある昼食場所の「歌行燈」へ徒歩で向かった。道を間違えて少し大廻りした。歩き疲れていた私らからは大ブーイング。イチゴで腹がふくれていたので、皆、量が少な目の定食をオーダーしたようだ。2時頃食事を終え、桑名駅に向かい、名古屋に3時頃戻った。



昼食会場「歌行燈」



ナガシマファーム

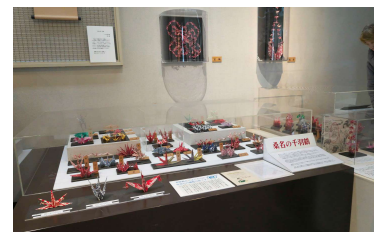


イチゴの摘み方

桑名駅 10時発のバスで長島スパランドに向かい、手前のイチゴ農園に着いた。カマボコ形のビニールハウスB棟に案内されると、巾1mの通路を隔ててイチゴ棚が配置されており、位置を表す番号が振られていた。私達のグループは22~24列を指定され、コンデンスミルクを入れるプラスチックケースを渡されて、10時30分頃から「用意ドン」で収穫を始めた。

収穫物はその場で食べるルールがあり、皆必死で食べ始めたが、イチゴで腹がふくれた為か、思った程収穫が進まず、私などは50個程度、多い人で80個程度であったと思われる。最初は22列、23列のイチゴが無くなるのではと思ったが結果的にかなり残ったようだ。

私はビニールハウス入場後、入口近くにあったお土産用のパック(1個)800円を買った。(お土産を先に買った方がゆっくり見学出来るとのクセです)



桑名市博物館
(撮影は連鶴以外禁止)



参加者

行事レポート

和菓子作り ～3月13日大島饅頭作り～

38期（音楽A） 広路 吉川 緑

大島饅頭と言うと最初に思い浮かべたのは「奄美大島」「大島紬」「黒糖」「黒蜜」等だった。そして表面をこげ茶色の薄皮でくるんだものというものだった。不器用な私にとって繊細なお菓子づくりは自信がなかったが大島饅頭を自分で作って食べたいという気持ちはあった。それにプロの先生に教えて頂けるなんてとても有難いことだと思った。

大島饅頭作りは17名が4グループに分けられ始まった。



餡玉づくり



皮の準備



成形；ベトベト

各自にレシピが配られ説明に入った。レシピに「イスパタ」と書いてありこれは何だ？と思っていたら他のグループから質問がありイスパタは「ふくらし粉」という解答がありました。次にレシピにそって「餡玉づくり」を始めた。あらかじめ用意されていた粒あんを一人分6個に分け、手のひらにのせ丸めた。これは難なくでき楽しかった。

「皮の準備」 黒砂糖を加熱した水の中に入れ解かしていった。粗熱が取れたら、小麦粉を入れ静かにませ寝かしておいた。

「成形」これが難関。寝かしておいた皮を一人6個にちぎり分けたが、この時からはや手のひらがベトベトになった。次の工程の軽く丸め、それを押さえて平らで円形にしていくことは大変だった。講師の先生に手のひらに小麦粉をはたいていただきなんとか皮は出来上がった。皮の上に餡玉をのせくるみながら丸めた。丸めた薄皮はところどころ破れていた。薄皮なので破れているところは私の腕では繕うこと至難の技であった。しかし何とか薄皮を指で伸ばして繕った。ところどころ中のあんが見えていた。成形したものを、蒸し器に入



大野講師説明

れ蒸した。

「加熱」 蒸し器で8分加熱沸騰させ出来上がり。

「後片付け」 各班で協力し使った鍋やボールを洗い片付けた。蒸し器の中に敷いた竹の巻き簾は薄皮が竹の間にへばり付いて取り除くのに苦労した。出来上がった大島饅頭は薄皮はところどころ破れていたものもあったが、とても可愛く上品であった。今まで食べた大島饅頭の中で一番感激深く食べる事が出来た。大野師匠、貴重な体験を設け御指導をしてくださりありがとうございました。



形成作業



加熱



参加者で記念写真

後日、花粉症に何年ぶりかにかかり薬を飲んだ。薬が合わず体がだるく食用不振になった。何も口にしたくなかったが、何か食べなくてはと思い作った「大島饅頭」を食べた。何と美味しかったことか。元気が出た。 感謝！

行事レポート

NHK名古屋放送局センター見学

38期 (園芸) 滝川 木下 ますみ

令和8年4月15日(水)、新年度の初めの行事である【NHK名古屋放送局】見学に15名で参加した。入り口では【ちこちゃん】が「昭和鯉城会のみなさまNHK名古屋へようこそ」の看板を持ちお出迎え。思わず「かわいいー」。11時よりNHK名古屋の概要の説明が行われた。

昨年(2025年)7月、100周年を迎えたとの事。ラジオの時代からの長い歴史である。今では1日の放送番組は、平日200本、休日140本。番組制作の裏側には多くの制作スタッフ(カメラマン、フロアディレクター、編集責任者、ディレクター、送出担当者、音声担当者他)が関わっている。夕方放送されている【まるっと】のセット作成には8人のスタッフで4時間かかる。何気なく見ているテレビであるが、番組制作には多くの人と時間が掛かっている。何事も裏側の多大な努力に



チコちゃんのお出迎え



NHK概要説明



「東海ドまんなか」スタジオ

より成り立っている事を改めて痛感した。次はスタジオの見学。動画は禁止、移動中は写真撮影も禁止の注意を受けながら、まずは金曜19時30分から放送の【東海ドまんなか】のスタジオへ。80坪(教室4個)の広さ、高さは10メートル。天井には180個の照明があり、この番組では70~80個が使用されている。カメラは4台と上から1台で撮影。セットはカラフル。各所に東海4県の名産品が置かれ、背景に映り込むように配置が工夫されている。最後は一番広い170坪(教室8個)のスタジオへ。セットがないため、だだっ広い感じ。【どうする信長】も撮影したそうである。又、仕切られた奥には観覧席もあり、イベントなども行われる。せり上がる舞台もある。壁に赤、緑、青の照明を当て、【まるっと】のポーズで写真撮影。3色の照明だけでそれぞれの色の濃さを調整すると、様々な色が出せる。3色混ぜると白。黒は黒いカーテンを閉める。色で感じ方は全く異なり、照明の威力が発揮できる。



「豊臣兄弟」全国巡回展

あつという間の1時間。【豊臣兄弟】のクリアファイル等のお土産を頂き解散。次は観覧できる番組で、実際の裏側も見学したいと感じた。ちょうど「豊臣兄弟」全国巡回展が開催されていた。衣装などの展示を見たり、豊臣兄弟、信長、家康の花押(署名の一種)を押印したりして、大河ドラマの気分も味わうことができた。貴重な体験ができたこと感謝致します。



記念写真

鯉城会活動

「マラソンボランティア」に参加して

33期 (美術) 松栄 中村 誠司

3月8日(日)名古屋ウィメンズマラソンが開催された。恒例により昭和鯉城会として22名がボランティアに参加した。



コーンの設置



テープ張り

天気はよかったもののこの1週間の中で最低の気温8.9度、我々の担当区域は昨年と同じ御器所交差点の、南桜山交差点に向かっての一部で日陰の多い区域だった。

天気予報で気温が低くなることか予想されたのでボランティア委員からカイロを配布してもらったが風が冷たく、暖かい服装で行ったつもりだったが、それでも結構寒く日陰での5時間はさすが堪えた。だが担当場所は御器所交差点の南側で、我が家から徒歩10分で、場所的には申し分ない所でした。

8時5分集合で点呼の後各担当部所に別れて規制用のコーンとテープ張り等を行ったが、慣れたものであっという間に準備完了。

今大会個人的には郵政OBとしてJP日本郵政Gの鈴木亜由子選手を応援しようとして先頭グループの通過

を待っていましたが、声をかける間もなく目の前を通過、鈴木選手も先頭グループにいたので、結果を期待して帰宅しましたが、なんと23位でがっかりでした。10キロ手前で失速したようだ。2023年は2位(日本勢トップ)だったのに、年齢的にも限界なのかな？

今大会日本人トップは積水化学の佐藤早也伽選手(全体2位)でした、一般参加の選手のコスチュームは以前より派手さも無くなり少なくなったと感じたが見ていて飽きることはありませんでした。

我々は往路の担当でしたが規制解除後後片付けをし



先頭G通過



一般ランナー通過



参加者記念写真

て解散は復路と同じ時間、だったら陽の当たる復路の担当がいい、来年はぜひ復路の担当を願いたいものです。お世話を頂いたボランティア委員の方々来年はよろしくお願ひします。お疲れさまでした。

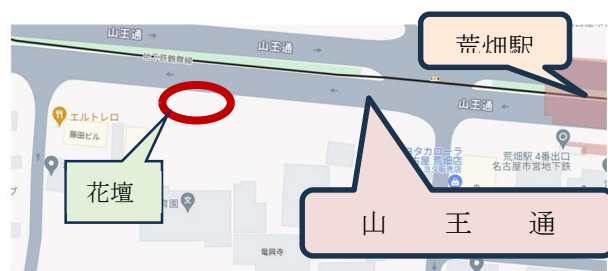
ボランティア報告

荒畑花壇の終了整理

33期 (生活A) 御器所 片岡 晴彦

荒畑花壇は、ボランティア団体「ゆめ緑道ごきそ」から昭和鯨城会が委託を受け、16年間にわたり管理を行ってきました。場所は、地下鉄荒畑駅から西へ約150m、山王通南側の歩道にあります。

「ゆめ緑道ごきそ」は、20年以上にわたり地域の緑化活動に取り組んできたボランティア団体です。苗を種から育てるほか、花壇は昭和区の JR 中央線東側から御器所通交差点まで続く山王通沿いや、川名公園などにも設けられています。しかし、このたび本年3月をもって活動終了、花壇を名古屋市に返還することとなりました。



荒畑花壇の位置

それに伴い、荒畑花壇についても、3月18日(水)に会員8名で終了整理を行いました。これまで、毎年11月には春の花であるパンジーや金魚草を、6月には秋の花であるニチチソウやマリーゴールドを植え、水やりや草取りなどの手入れを会員全員で行ってきました。咲き誇る花々は、歩道を行き交う人々に、ひとときの安らぎを与えてくれたことと思います。

満開のパンジーをそのまま処分するのは忍びなく、参加者それぞれが持ち帰りました。

長年にわたる水やり当番、そして今回の終了整理にご参加いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。



植生除去



整地



終了

終了整理作業



2023年9月



2024年7月



2025年3月



2025年4月手入れ

過去の花壇の様子

令和8年度 昭和鯉城会事業計画

年月	役員会・委員会 定例会		行事(協賛行事含む)	クリーン パートナー等	会報 発行	印刷
	日	場所				
R8年 4月 済	3日(金) 定例会	昭和区役所 6F 604	・10日(金)10:00 昭和区役所講堂 昭和鯉城会 総会 ・15日(水)(昭和・行事) NHK名古屋放送局センター見学	22日(水)	---	7(火) 9:30~ 23日(木) 9:30~
5月 済	1日(金) 定例会	昭和区役所 6F 604	・26日(火)(昭和・行事) 岐阜城(楽市)と川原町の 古いまちなみ散策	20日(水) 主要道路清掃 学区(4拠点)	---	28日(木) 9:30~
6月	5日(金) 定例会	昭和区役所 6F 604	・10日(水)(昭和・行事) 碧南方面(味噌と砂糖)(バス利用) ・11日(木)AM 社会福祉協議会(体験型) 40期生地域(2年)ミーティング ・13日(土)9:30~11:00 予備日20日 鶴舞公園クリーンキャンペーン	17日(水) 土鈴づくり25日(木) ライトハウス	122号	25日(木) 9:30~
7月	3日(金) 定例会	昭和区役所 6F 604	・21日(火)(昭和・行事) 名古屋大学博物館と ノーベル賞展示室見学	15日(水)	---	30日(木) 9:30~
8月	7日(金) 定例会	昭和区役所 6F 604		19日(水)	---	27日(木) 9:30~
9月	4日(金) 定例会	昭和区役所 6F 604	・6日(日)「遊びの広場」 昭和区役所講堂 ・9日(水)(昭和・行事) グリーンピア春日井(都市緑化植物園)	16日(水)	123号	24日(木) 9:30~
10月	2日(金) 定例会	昭和区役所 6F 604	・21日(水)予備日28日(水) グランドゴルフ交歓会 庄内緑地公園 ・26日(月)~29日(木) 「趣味の作品展」 昭和区役所2F 601, 602	21日(水)	---	30日(金) 9:30~
11月	6日(金) 定例会	昭和区役所 6F 604	・11日(水) 地域ミーティング (対象41期1回目) ・14日(土)10:00~12:00 堀川清掃大作戦 (予備日21日) ・15日(日) 「昭和区民まつり」鶴舞公園 ・19日(木) 東スポーツセンター 16区フェスティバル ・24日(火)(昭和・行事) 愛知県警察本部見学 ・25日(水) 地域ミーティング (対象40期3回目)	18日(水) 主要道路清掃 学区(4拠点)	---	26日(木) 9:30~
12月	4日(金) 定例会	昭和区役所 6F 604	・8日(火)忘年会(昭和・行事)	16日(水)	124号	24日(木) 9:30~
R9年 1月	8日(金) 定例会	昭和区役所 6F 604	・16日(土)(昭和・行事) 桜花学園高校インターアクトクラブ との交流会 ・22日(金)区会説明会10:45~ (対象40期生) 鯉城ホール	20日(水)	---	28日(木) 9:30~
2月	5日(金) 定例会	(昭和生涯学習 センター等)	・12日(金)(昭和・行事) 「和菓子づくり」	17日(水) 主要道路清掃 学区(4拠点)	---	25日(木) 9:30~
3月	5日(金) 定例会	昭和区役所 6F 604	・4日(木)10:00~15:00 5F 鯉城ホール 鯉城会第17回OB文化祭 ・14日(日)名古屋ウィメンズマラソン ・23日(火)(昭和・行事) 足助町散策(カタクリ群生地)	17日(水)	125号	25日(木) 9:30~
備考	◎定例会 (役員会・委員会) 9時30分~12時00分		◎クリーンパートナー(東郊通2~御器所通) 集合9時30分(夏時間なし) 集合場所 荒畑 龍興寺北側の器具置場 5月・11月・2月は主要道路清掃活動日(集合9時30分) ◎土鈴作り ライトハウス 13:00~15:00		発行 年4回	社協 ボラールーム

ホームページ担当者お知らせ

昭和こじょう会便りの歩み

38期 滝川 岩井 芳隆

「昭和こじょう会便り」をご愛読いただき、ありがとうございます。本誌は平成7年7月、6ページのコピー冊子から始まりました。

現在昭和鯉城会のホームページ（HP）上で創刊号から最新号まで公開されております。昭和こじょう会便りの表紙写真をクリックして、ぜひその歩みをご覧ください。



継承されてきた歴史をデジタルへ

先輩方が作り上げた会誌の数々は、長年、阪本様が大切に保存されていました。

今回、HP 担当を機にこれらを預かり、創刊から現在の流れを知り、皆様の努力に深く感銘を受けました。ただ、HP 上では、これまでは第88号からしか公開されていないのが実情でした。

そこで、過去の会誌をすべて読み込んでホームページに掲載し、会員の皆様にいつでも楽しんでいただけるようにしようと考え、スキャナーによるPDF化に挑戦いたしました。



- ① 会誌のホッチキスを外し、A4の平らな状態にします。
- ② 「ScanSnap（スキャンナップ）」にセットします
- ③ 両面読み込み設定でスタート。
- ④ 読み取り後、再度ホッチキスで綴じ直し元の状態に。

単純な作業ではありますが、第1号から第87号までを、すべてを整理し終えるには、丸一日を要しました。今後とも、昭和こじょう会便りと共に、昭和鯉城会のHPの閲覧をよろしくお願ひします。

編集後記

122号は、会の活動、年度当初の総会、関係者挨拶に加え令和8年度の年間計画を掲載しました。今年度も昭和鯉城会活動への参加と、こじょう会便りへの投稿をお願いします。

昭和鯉城会 「昭和こじょう会便り」 2026年6月122号

発行責任者 高島 善行

広報委員長 伏屋 満 副委員長 中村 誠司

広報委員 杉江 恵理子、桐山 宏之、岩井 芳隆、吉川 緑

表紙写真 「潮の岬」 中村 誠司 (33期 美術)

「絵画教室で与えられたテーマ（写真）を最初 F6号で描いたものを区民展出展用に F20号に描き直しました。現地に行っていないので波しぶきの表現などが想像の域を超えてははいませんが、お気に入りの一作です。」

名古屋市高年大学昭和区鯉城会・名古屋市鯉城学園共同発行